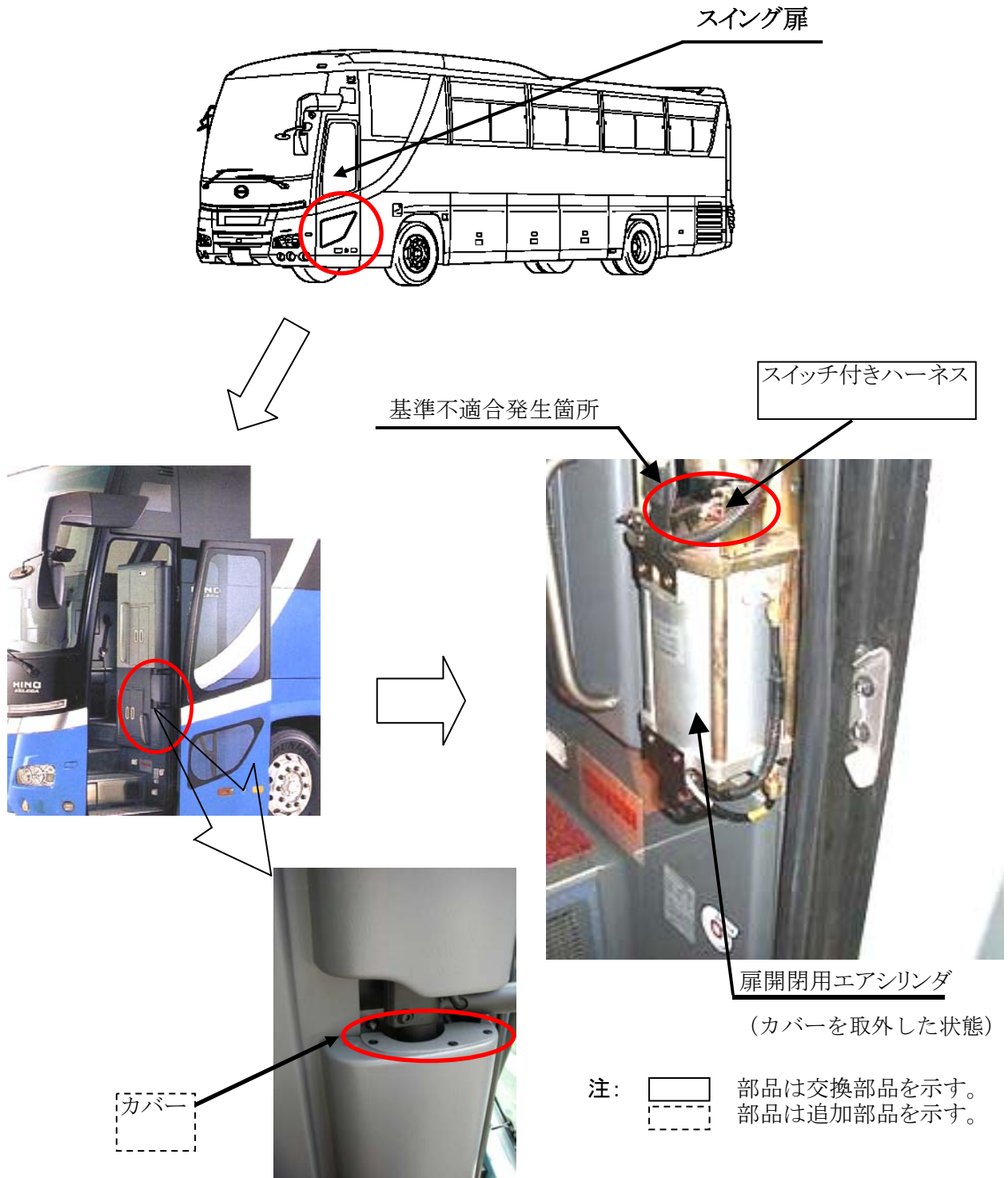


改善箇所説明図



大型観光バスのスイング扉挟み込み防止機構用スイッチの防水性が不適切及び扉ロック位置を検出するスイッチ上部のカバー形状が不適切なため、その両スイッチが故障した場合に、扉の挟み込み防止機構が作動する場合があります。そのため、最悪の場合、走行中に扉が開くおそれがある。

改善の内容

全車両、スイッチを防水式に交換するとともに、スイッチカバー部にカバーがないものはカバーを追加する。なお、対策品の供給に時間を要することから、暫定措置として扉の挟み込み防止機構を非作動にする。

識別 : スイング扉開閉用エアシリンダのボルト付近に白色ペイントを塗布する。